

「歌舞伎フェイスパック」でなりきり写真続出！発売から半年で10万セットが完売した
「Tokyo Midtown Award 2008」デザインコンペ発のヒット商品
「歌舞伎フェイスパック」が
2014年度グッドデザイン賞受賞！



東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、“JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)”を創造・結集し、世界に発信し続ける街”をコンセプトに街づくりを進めています。

その活動の一環として、開業以来毎年開催しております、「Tokyo Midtown Award」の2008年度学生部門準グランプリを受賞した「歌舞伎フェイスパック」が、2013年12月に株式会社一心堂本舗より商品化され、半年で10万セットを完売するほどの人気商品となっております。

この度、この「歌舞伎フェイスパック」が2014年度のグッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしました。

● **当時学生だった小島氏のアイデアによる作品、「JAPANESE、FACE」**

「歌舞伎フェイスパック」の生みの親、小島 梢氏が「Tokyo Midtown Award」で学生部門の準グランプリを受賞したのは2008年。その年の募集テーマであった「日本の新しいおみやげ」を、“日本の顔(代表)”として捉え、歌舞伎の隈取をフェイスパックに仕立てた作品で受賞しました。

● **受賞から6年。2013年冬に発売**

この作品が、当時同じく「日本を代表するような新感覚のお土産」をつくり出したいと考えていた、歌舞伎座に店舗を構える株式会社一心堂本舗の目に留まりました。

シートパックという、日本人の美容にとっても馴染みがある商品に、伝統的な歌舞伎の隈取を施す、この作品の商品化。パックに色を乗せるということは、技術的な苦勞もあったとのことで、商品化まで長い月日を要しましたが、隈取は歌舞伎役者の市川染五郎氏が監修、パッケージデザインを小島氏が新たに手がけたことで、スタイリッシュで話題性のあるお土産として人気を呼んでいます。「Tokyo Midtown Award」は、このように作家と企業のマッチングなども商品化サポートの一環として行っています。



歌舞伎フェイスパックの生みの親！受賞者プロフィール

＜小島 梢 Kozue Kojima＞

デザイナー、アートディレクター / 1984年愛知県生まれ / 桑沢デザイン研究所屋間部卒業後、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科に3年次編入し、卒業 / 同年、株式会社電通に入社。現在は株式会社電通中部支社に outward。

小島氏コメント

歌舞伎フェイスパックの商品化をきっかけに、日本の「顔」＝「代表」となるような「顔」の特徴をもった様々な方々とコラボレーションしていく、フェイスパック専門のブランド「JAPANESE FACE」を一心堂本舗と立ち上げました。新たなフェイスマスクのデザインや新商品の企画、「JAPANESE FACE」のブランディング等、幅広く関わらせていただいています。



左から、Tokyo Midtown Award 受賞後に商品化された「歌舞伎フェイスパック」900円 / 日本一の歴史を持つ上野動物園の2大アイドルを表現した「動物フェイスパック」900円 / 日本最大のシアターカンパニー劇団四季「キャッツ」のフェイスパック 900円 (全て税込)

上記作品の他にも、「Tokyo Midtown Award」<デザインコンペ>を受賞した作品が商品化されています。

詳細は(<http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/design/product.html>)をご確認ください。

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

■東京ミッドタウンホームページ■ www.tokyo-midtown.com

■Tokyo Midtown Award ホームページ■ <http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>